

栃木県眼科医会理事会だより(令和元年度第4回)

日 時：2019年11月20日(水) 午後7時20分

場 所：宇都宮市医師会館

出席：【会長】吉澤徹 【副会長】石崎道治、釣巻穰 【理事】井岡大治、稲葉全郎、上田昌弘、大久保彰、大塚信行、大柳静香、金子禮子、久保田芳美、斎藤信一郎、関本慎一郎、高橋雄二、堤雅弘、永田万由美、橋本尚子、細川美奈子、渡辺芽里 計19名

欠席：【理事】青瀬雅資、井上裕治 【監事】旭英幸、原裕 【顧問】柏瀬宗弘、川島秀俊、妹尾正、新井田孝裕、宮下浩 計 9名

《会長挨拶》

皆さんこんばんは。前回の理事会から2か月の間にさまざまなことがありました。特に台風、豪雨災害の被害が全国で相次ぎ、家を失い、避難所で生活する方もまだ多くいらっしゃいます。全ての被害者の方にお見舞いを申し上げます。私たちも、災害が多発する時代に合わせ、独自の対策を進めていく必要があります。全員で力を合わせ、がんばっていきましょう。

《総 務》

報告 1. 令和元年度都道府県眼科医会連絡会議出席報告

出席：栃木県眼科医会会長 吉澤 徹 (鹿沼市)

日時：令和元年11月9日(土) 17:00～19:00 および 10日(日) 9:00～12:30

場所：東京都港区新橋1-12-9 A P新橋 3階

福島県をのぞく全国都道府県会長47名と日眼医会長、理事など30名が出席して行われた。

白根雅子会長の挨拶

◎2020年東京パラリンピックに向けて、日本眼科学会と日本眼科医会が共催する「視覚障がい者スポーツを応援する事業」が始まった。視覚障がい者スポーツの普及に貢献し、視覚障がい者の実態についての知見をひろめる活動を行っていく予定である。

◎この10月には、台風15号、19号、その後の集中豪雨など、全国で被害が相次いだ。日眼医と各地区眼科医会との連絡はほぼうまくいったと思われる。今後も7月に日眼医HPに発表した大規模災害ハンドブックを基本として、各都道府県眼科医会には、地方の実情に合わせた対策を進めていってほしい。

被災地からの要請により、10月22日(火・祝)に、ビジョンバンを、河川の氾濫被害にあった宮城県大崎市鹿島台に災害派遣した。

◎令和2年度の日眼医90周年記念事業について準備を進めていく予定。

関東甲信越ブロックから提出された事前の予算説明の誤りについては、他地区より早く準備を進めた群馬県の実情を考慮し、日眼医から一定の補償がされることになった。(額は執行部一任)

- ◎診療報酬改定について。12月になれば、全体の改定率が決まり、その後、細部が決定されてゆく。眼科医療推進議員連盟の働きに期待している。
- ◎近視の予防対策について、日本独自の対策を打ち出すための調査を計画している。
- ◎視覚障がい者対策を推進していく。

【1】 執行部提出議題について

1. 令和2年度代議員会における定款及び定款施行細則の改正(案)について
来年度の代議員会に提出を予定している。
2. 日本眼科医会の災害対策対応と都道府県眼科医会への災害対策のお願い
第1回災害対策委員会を2019年4月14日(日)、第2回を10月20日(日)に開催し、大規模災害対策ハンドブックを作製した。
3. 小児科医療機関から紹介される乳幼児受託医療機関リスト作成について
総合病院の眼科や眼科開業医が中心となり、小児科からの紹介を受ける一次医療機関リストを作製する予定。各医療機関が年末までに受諾するか否か、FAXを日眼医事務局まで返信する。
診察内容については、日眼医作製の「園医のための眼科健診マニュアル」を参考にしていただきたい。
4. B会員、C会員向け日眼医Webサイト開設について

【2】 執行部報告事項について

1. 総務管理
 - 1-1) 日眼・臨眼開催時の控え室について
 - 1-2) 会員向け各種保険について
 - 1-3) 都道府県に依頼したアンケート結果について
 - 1-4) 令和元年度定時代議員会のアンケート調査結果について
 - 1-5) 令和2年度版(改定第4版)代議員ガイドブック(見本)について
 - 1-6) 会員移動Webシステムについて
2. 総務企画 (なし)
3. 経理
 - 3-1) 日眼医の財務状況について
 - 3-2) 公益法人事業協力金について
4. 公衆衛生
 - 4-1) 2019年度「目の愛護デー」行事について
 - 4-2) 日本眼科医会災害対策委員会について
5. 公報
 - 5-1) 日本眼科医会のHPアクセス数の推移について
 - 5-2) 日本眼科記者懇談会の開催実績一覧
 - 5-3) 取材対応一覧

6. 学校保健
 - 6-1) 平成30年度学校現場でのコンタクトレンズ使用状況調査について
 - 6-2) 「園医のための眼科健診マニュアル」の発行について
7. 学術
 - 7-1) 第73回日本臨床眼科学会について
 - 7-2) 第78回日本眼科医会生涯教育口座(2020年春季)について
 - 7-3) 日本眼科医会生涯教育講座 2020年夏季講座の開催見送りについて
8. 社会保険
 - 8-1) 第73回日本臨床眼科学会シンポジウム(日本眼科社会保険会議)について
 - 8-2) 第73回日本臨床眼科学会インストラクションコースについて
 - 8-3) 2020年度診療報酬改定に向けた改正要望(外保連)について
 - 8-4) 2020年度診療報酬改定に向けた厚生労働省ヒアリングについて
9. 医療対策
 - 9-1) コンタクトレンズ、眼鏡による眼障害の各アンケート調査について
 - 9-2) 某眼鏡店の医療類似行為について
 - 9-3) 安易なステロイド薬投与に対する他科への注意喚起について
 - 9-4) コンタクトレンズ対策プロジェクトについて
10. 勤務医
 - 10-1) 眼科後期研修医の実数調査について
 - 10-2) スプリングキャンプ参加者支援の取り組みについて
 - 10-3) 全国勤務医連絡協議会(2019年11月17日(日))の開催について
 - 10-4) 全国眼科男女共同参画協議会(2020年2月9日(日))の開催について
 - 10-5) 都道府県眼科医会における女性医師に関わる問題への取り組み状況調査について
 - 10-6) 勤務医メーリングリスト登録のお願い

【3】都道府県眼科医会提出議題について

今年は昨年より多く、全国から18題の議題が提出され、各個に討論が展開された。今回から2日間にわたり開催されたこともあり、年一回になった代議員会を補完する会議になっていくものと思われた。

その他詳細については、「日本の眼科2月号」に掲載される予定。

報告2. 来年度会長選挙について

【石崎】

選挙管理委員長は福島一哉先生、選挙管理委員は城山力一と苗加謙応先生を理事会で承認した。

今後は、選挙管理委員会の基、規程に従って選挙が行われる。

報告3. 第18回宇都宮市医師会市民フォーラム(12月14日(土)とちぎ健康の森)について

主催は(一社)宇都宮市医師会、本会は後援となっている。

講演「目の病気に白、緑、黄？―病気のなりたちから治療まで―」

井上裕治先生（自治医科大学糖尿病センター・眼科学講座准教授）

報告 4. 本会会員 関本眼科医院 関本俊男先生 (79歳) 逝去 (10月1日(火)) **【斎藤】**

会員にFAX連絡 弔電 香典 供花

報告 5. 日本緑内障学会から連絡の「ライトアップinグリーン運動」について **【吉澤】**

2020年3月8日～14日まで、世界緑内障週間にちなんで、より多くの人々が緑内障に関心を持ち、早期発見、失明予防につながるよう全国各地のランドマークや医療機関で今年もグリーンのライトアップが行われる。栃木県では宇都宮タワーと、原眼科病院（原岳先生は緑内障学会評議員）がライトアップされる。関東甲信越では、その他東京、神奈川、新潟、長野で行われている。

協議 1. 愛媛県眼科医会からのお見舞い金の件 **【吉澤】**

11月1日(金)に愛媛県眼科医会の原祐子会長から事務局に手紙が届き、今回の台風19号による栃木県での被害について見舞い金提供の申し出があった。11月9日(土)の都道府県眼科医会連絡会で細部を確認したところ、今回の台風2つと集中豪雨1つにおいて、全国の眼科医会員の施設被害は栃木と宮城の2県のみだったとのこと、また2018年の豪雨災害で、3施設の会員が被害にあった愛媛県は、他県から多くの援助をいただいた経験から、今回の被災県にもお見舞金をという会員からの意見があり連絡をしたとのこと。ちなみに、その時の援助金は総額129万円に達した。今回当県に予定される見舞金は5万円を予定しているとのこと。原祐子会長は日眼医の常任理事でもあるため、被害情報も早くから確認できていたようである。協議の結果、ありがたくいただき、本県の被災会員への見舞金にあてることに決定した。

(金額と詳細は医療安全対策の協議2を参照。)

理事会終了後、愛媛県眼科医会にお礼状を送付した。

協議 2. 入会希望者について (転入・新規開設を含む) **【吉澤】**

B 若尾香苗 今泉町眼科診療所

(〒321-0962宇都宮市今泉町237 電話028-623-4460)

東京都より

複数施設従事届も受け取った (東京都眼科医会から)

《経 理》 **【堤】**

報告 1. 目の愛護デー記念行事収支報告

収入の部 栃木県アイバンクより寄付金及び源泉税預かり金合わせ21,370円

支出の部 1,006,192円

差額の984,822円を眼科医会医事対策費より補填。

《学 術》

報告 1. 第9回ぶどう膜カンファレンス開催報告(9月20日(金) 宇都宮グランドホテル)

ミニレクチャー：「Vogt-小柳-原田病とサルコイドーシスを合併した症例について」

渡辺芽里 先生 (自治医科大学眼科学講座)

特別講演：「感染性ぶどう膜炎のマイブーム」

後藤 浩先生 (東京医大眼科主任教授)

報告 2. 第 8 回栃木県眼科医会獨協医大眼科病診連携の会開催報告 (11月8日(金) 宇都宮グランドホテル)

演題 1：「ぶどう膜炎におけるマルチモーダルイメージング」

南場研一先生 (北海道大学大学院医学研究院眼科学教室 診療准教授)

演題 2：「OCT angiographyを用いた糖尿病黄斑浮腫の抗VEGF薬治療」

村田敏規先生 (信州大学医学部眼科学教室 教授)

報告 3. 第78回栃木県眼科集談会開催報告 (11月15日(金) 宇都宮市医師会館)

一般講演 8題

特別講演「DNAダメージおよび酸化ストレスを産出するエストロゲン代謝経路における主要解毒酵素NQO1がFuchs角膜内皮ジストロフィーの女性優位性における役割」

宮島 大河 (獨協医科大学 眼科学教室)

協議 1. 第13回栃木県内科眼科関連疾患懇話会について (11月21日(木) 宇都宮グランドホテル)

演題 1：「いま改めて高血圧・動脈硬化と眼の関係を考える」

川崎 良先生 (大阪大学眼科学教室 視覚情報制御学寄付講座 特任教授)

演題 2：「糖尿病診療の最前線-糖尿病診療ガイドライン2019を踏まえて」

荒木栄一先生 (熊本大学糖尿病・代謝・内分泌内科 教授)

協議 2. 第61回栃木県眼科医会研究会について (2020年1月31日(金) 宇都宮グランドホテル アッヴィ合同会社と共催)

特別講演1「ぶどう膜炎の疾患別の治療戦略とステロイド代替治療」

蕪城俊克先生 (自治医科大学付属さいたま医療センター眼科 教授)

特別講演2「ステロイド・免疫抑制剤・生物学的製剤の使用法；その注意点と使用戦略」

倉沢和宏先生 (獨協医科大学リウマチ・膠原病内科 教授)

協議 3. 第29回下野眼科談話会について (2020年2月14日(金) 宇都宮グランドホテル)

特別講演1「落屑緑内障について～手術治療を中心に」

谷戸 正樹 先生 (島根大学医学部眼科学講座・教授)

特別講演2「新しい緑内障の治療戦略 ～新規薬剤のポジショニング～」

中澤 徹先生

(東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座眼科学分野 教授)

協議4. 第27回栃木眼科セミナーについて (2020年2月21日(金)宇都宮グランドホテル)

協議5. 第79回栃木県眼科集談会について (2020年4月12日(日) 自治医科大学)

特別講演 梯 彰弘 教授

一般演題6題、石崎副会長より眼科医会災害時連絡網について20分の講演あり

《医療安全対策及び福祉》

【関本】

報告1. 日眼医より依頼の平成30年度医事紛争事例調査の件

本県からは無し (日本眼科医会へは報告済み)

報告2. 日眼医より連絡のマイトマイシン自主回収について

協和キリン(株)「マイトマイシン注用2mgおよび10mg」について自主回収が発表されている。供給再開予定は2021年以降との事だが眼科で使用する2mgについては自主回収レベルクラスIIという事から、使用する医師の合意があれば再開までは無償提供されるとの事。詳しくは、添付資料：「20191017_マイトマイシン自主回収」ならびに「JGS見解MMC回収20191017」をご確認いただきたい。

報告3. 日眼医より連絡のアゾルガ配合懸濁性点眼液の供給についての連絡の件

ノバルティスファーマ アゾルガ配合懸濁性点眼液の供給について案内が発表されている。今後、供給停止が予想されるが、代替品の使用をご検討のうえ、患者様の治療に支障を来たすことが無いようご対応していただきたい。

報告4. 令和2年度眼科コメディカル講習会について(本会主催、眼科臨床技術研究会共催)

会員に案内送付済

報告5. 第91回栃木県眼科医会ゴルフコンペ開催報告 (10月20日(日) 宮の森カントリー倶楽部)

優勝：加藤健先生 準優勝：高橋佳二先生 参加者 17名

次回は来年4月を予定

協議1. 令和元年度栃眼医忘年会について (12月4日(水)ホテルニューイタヤ)

案内は事務局から送付済

協議2. 災害医療対策について

【石崎】

災害時連絡網について、理事会で協議された。災害時連絡網については診療施設の電話番号、FAX、番号、E-mailアドレス、自身の携帯電話番号を記入する調査票を会員各位に郵送して再確認後、来年4月に災害時行動指針と一緒に配布する予定。内容の解説は4月の総会で行われる。

台風19号の被災者へ本会からお見舞金を送ることとした。対象は床上浸水を被った2施設（協議3参照）で金額は10万円とする。財源は医療対策費からとする。

今後の災害については、対象は自宅・診療施設の半壊・半焼。床上浸水以上が考えられるが、お見舞金の額を含めてその都度協議する。

協議3. 日眼医より連絡の「激甚災害（令和元年10月11日から10月14日までの間の暴風雨及び豪雨による災害 ※台風19号の暴風雨による災害）の会員該当者調査および申請のお願い」の件【石崎】

激甚災害会費免除申請対象者の検討。大野眼科クリニックと青木眼科医院の2施設を対象に申請した。

大野眼科クリニックからの回答

「今回の秋山川決壊にて外側80cm床上55cmの浸水被害を受けました。床全面と駐車場にドロの堆積、ニッデックOCT、ツイスレーザー、スライドテーブル等も稼働不能となりました。壁や床、待合室のソファ等も破損し、張替えや新規調達品も多数あり、甚大な被害を受けました。」

青木眼科医院からの回答

「手術室一部床上浸水 ※手術は次週以降に延期 正面 風除室一部浸水」

《保 険》

【井岡】

報告1. 令和元年度 健保研究会の開催報告（11月15日（金）宇都宮市医師会館）

出席者は約20名

会員からの事前質問1題

質問：翼状片の術前・術後に（手術適応準備も含め）OPDで乱視評価をしたいのですが通りますか。

回答：2D以上の高度角膜乱視を伴う翼状片の手術前後に<D-265-2角膜形状解析検査(105点)>を各1回づつ算定可能。

ただし同月内に<D265角膜曲率半径計測(84点)>の同時算定は不可。 と説明。

審査員からの個別のコメントは無し。

疑義・質問あれば日眼医の社会保険Q&Aを見るか、栃眼医まで連絡するよう伝えた。

報告2. 日眼医より「令和元年度 全国健保担当理事連絡会」の栃木県提出議題の内容変更の依頼について

日眼医に『コンタクトレンズ検査料の除外項目に、疑い病名での出来高算定を認めていただきたい。』という趣旨の質問を出したが、後日質問内容の変更を求める文章が届き、その内容を吟味した結果、現状でもある程度の疑い病名での出来高算定は可能と判断し、質問自体の取り下げを願い出て、了承された。

報告3. 小山の医療機関からの返信について

10月9日(水)に返信があり、納得された部分とされない部分があるとのこと。
支払い基金や厚生局に直接問い合わせをしている模様。

報告4. 令和元年度第2回栃木県審査委員連絡会議の開催報告（11月18日(月)宇都宮市医師会館）

出席者 社保：鈴木重成先生、大野研一先生、大久保彰先生

国保：無し

理事：井岡

会員からの質問についての検討。 全国健保担当理事連絡会の協議内容についての報告。

各審査員からの審査上の疑義解釈等についての検討、情報の共有が行われた、

来年の第1回審査員連絡会は6～7月の開催予定。

今後、第2回審査員連絡会を春の健保研究会の前の3月頃の開催に変更するかどうか検討する。

《広報》

【大柳】

協議1. 令和元年度 関プロ会報編集委員会の件

日時：2020年2月2日(日) 12:00～14:00

場所：北大路 京橋茶寮 東京駅店

会長のことば・各県だより・随筆・編集子囁言（編集後記）

原稿提出締め切り 2020年1月15日(水)

《学校保健》

【久保田】

報告1. 第1回学校保健部会理事会出席報告（9月26日(木) 護国会館）

久保田理事出席

眼科学校医に関する質疑はなし。

学校医の更なる学校への積極的関与が本年度の目標

次回は2月開催予定

報告2. 第43回全国学校医連絡協議会出席報告（9月29日(日)東京グランドホテル）

久保田理事出席

近視・CL・色覚・スポットビジョンスクリーナー・眼外傷など全国から39議題について討議された。

教育講演は「スポーツ眼外傷の現状と課題」 について枝川宏先生により行われた。

栃木県からの議題について執行部からの回答

ご指摘の通り、CLの装用者への啓発活動は重要です。眼科医療機関における定期検査の受診状況は実態調査においても減少しております。CL対策プロジェクト会議を設置し眼障害の危険性を周知する有用な情報を本会Hpに掲載予定です。またYouTubeを含み各種媒体にも同情報の掲載を計画中です。フロアからは処方箋の取り扱いをはじめ、CLの諸問題につき追加討議があった。

報告3. 日眼医より連絡の 厚生労働省よりの「コンタクトレンズの適正使用に関する小・中学生への教育について」の件

厚生労働省より

「コンタクトレンズの適正使用に関する小・中学生への教育について」

教育用資料の公表についての事務連絡が発出された。

大阪府薬事審議会医療機器安全対策推進部会において、

- ・コンタクトレンズを「はじめて使う」をポイントにした低年齢層向け教育用冊子
- ・教育用冊子と対になる教育用スライド
- ・教育内容を整理した教育者向け資料が取りまとめられた旨の連絡。

「是非、低年齢層へのコンタクトレンズ使用の啓発にご活用していただきたい」とのこと。

《公衆衛生》

【大塚】

協議1. 目の愛護デー記念行事（10月6日（日）宇都宮市健康センター（ラスカビル 19階）開催報告

66名参加

目の健康講座：「中高年に多い目の疾患と早期発見の秘訣」

新井田孝裕先生（国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科 学科長・教授）

無料相談員：田口裕隆先生（栃木市 大平眼科） （手紙は事務局より発送済）

福澤裕一先生（小山市 小山福澤眼科）

眼科医会理事（石崎先生、釣巻先生、高橋先生、堤先生）

日程：14：00～15：00 目の健康講座

15：00～（受付15：30まで） 目の無料相談

15：00～（受付15：30まで） 眼圧無料測定

下野新聞への投稿：久保田芳美先生に依頼し、「かかりつけ医を持とう」10月1日（火）。

ポスター：色 緑色

後援依頼：栃木県 宇都宮市 栃木県医師会 宇都宮市医師会 承認済み

広告 下野新聞と読売新聞に各々半3段 2回 掲載

CRT栃木放送 60秒生CM 6回

「目の愛護デー実施状況調」を提出した。

日眼医提出書類（10月29日（火）締め切り）

実施状況調

ポスターとパンフレットも同封する。

(栃木県は保健福祉部健康増進課難病対策担当宛、宇都宮市は、健康増進課宛に送る。)

報告 2. 次期眼科一次救急当番表郵送について

該当者には、一覧表に規程、一次救急診療について同封
次期から該当から外れる先生には、お礼状と一覧表を送付した。

協議 1. 令和2年度「目の愛護デー」記念行事について

期日：2020年10月4日(日) (予定)
会場：宇都宮市保健センター (予定)

協議 2. 栃木県ロービジョンケア紹介パンフレット (スマートサイト) について

【渡辺】

印刷会社の決定
春の集談会で、作成のご報告と周知を図る
PDFファイル (可能であればワードファイルもしくはテキストファイル) を
栃木県眼科医会のHPに掲載予定

《医療対策》

【高橋】

報告 1. 令和元年度栃木県コンタクトレンズ販売管理者継続研修会進捗状況

(12月1日(日)とちぎ健康の森)
レジメ印刷中済み。 11月現在、申込者97名 (内訳：医師17名、有資格者13名、その他
スタッフ67名)

協議 1. 令和2年度栃木県コンタクトレンズ販売管理者継続研修会について

日程：2020年12月6日(日)に仮決定
講師：坂東誠先生に打診中

協議 2. 関プロから連絡の令和元年度第1回日本眼科医会医療対策委員会への意見募集について

《勤務医》

【上田】

報告 1. 第20回全国勤務医連絡協議会出席報告 (11月17日(日)、東京コンファレンスセンター・品川)

上田理事出席
講演：「視覚障害者に対する補装具、生活用具給付等の福祉制度に関して」
講師：秋山 仁 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部企画課 自立支援振興室
福祉用具専門官)

その後、各都道府県からの提出議題およびディスカッションが行われた。
(詳細は来年3月の「日本の眼科」に掲載される予定です)

協議 1. 来年度の栃木県眼科手術談話会（5月22日（金） 宇都宮市医師会館）の件

特別講演は、後藤 聡先生（東京慈恵医大）に涙道疾患の手術治療についてお話いただく予定

《男女共同参画》

【金子】

報告 1. 宇都宮市医師会館と自治医科大学での講演会や集談会での託児室の設置について

再度検討中。

協議 1. 託児室の設置について

自治医科大学は託児室設置可能とのこと。託児費用については、今後、県医師会の補助が利用できるか検討する。

《日眼医連盟》

【吉澤】

報告 1. 令和元年度日本眼科医連盟協議委員会出席報告

出席：栃木県眼科医会会長 吉澤 徹（鹿沼市）

日時：令和元年11月9日（土） 19:00～19:30

場所：東京都港区新橋1-12-9 A P新橋 3階

都道府県眼科医会連絡会議の終了後、同所で開催された。

1. 代表あいさつ

高野茂代表より 連盟代表の任期は1月1日から12月31日までであり、来年は日眼医も執行部の交代があるので、代表も含め連盟役員も、再来年1月から刷新したい、とのこと。

2. 議題

【報告】

（1）平成30年度活動報告

大きなトピックとして

- ・眼科医療政策推進議員連盟議連総会が開催された（H30. 11. 29）
- ・岸田文雄自民党政調会長が日眼医連盟の支援議員に参入した（H31. 3. 8）
- ・自民党本部臨時眼科検診が開催された（R1. 5. 31）

（2）平成30年度会計報告

（3）平成30年度監事報告

（4）令和元年（2019）年度 中間活動報告について

（5）令和元年（2019）年度 会計見込みについて

以上、問題なく報告された。

【協議】

（1）参与について

現状の参与の羽生田・井上・自見各議員に加えて、国光あやの議員を加えることを

提案、承認された。

国光あやの参議院議員は茨城6区新人・医師・元厚生労働省保険局医療課勤務。

今後の診療報酬改定や公的検診など、厚労省との交渉に力を発揮していただけると期待されている。

3. 閉会のあいさつ(白井副委員長)

来賓あいさつ

井上信治衆議院議員

羽生田俊彦参議院議員

国光あやの参議院議員

協議 1. 日本眼科医連盟の活動交付金について

例年のごとく、不要と返答する予定。

《その他》

次回1月15日(水)では『災害医療対策』の話がありますので午後7時10分開始となります。お間違えのないようにご出席ください。

2020年の理事会開催予定日(宇都宮医師会会議室の予約完了)

1月15日(水) 午後7時10分開始です。

3月18日(水) 午後7時10分開始です。

5月20日(水)

7月15日(水)

9月16日(水)

11月18日(水)

以上

(斎藤信一郎 記)